

期日：令和5年12月28日

1 場所：那須朝日岳東南稜

2 日程コース

12月28日 大丸温泉駐車場（7：50）～東南稜取付（9：50）～朝日岳（12：00）～1900m峰～峰の茶屋（13：20～13：50）～駐車場（14：40）

3 参加者（2名）林 祐寿 荒井 理

4 行動概要

令和5年も残り僅かとなった28日、天候も安定しそうなので二人で山行計画を立てることになり、場所は近くのバリエーションルートである朝日岳東南稜とした。

当日は予定通りの好天に恵まれ、この時期にしては暖かい日となった。雪も少なかったが峠の茶屋でアイゼンを装着、登山道に入る。標高1650m付近から登山道を外れ、正面に東南稜を見ながら谷へと下り、二つ目の堰堤でハーネスを着けて登攀準備を整える。尾根に取り付くとすぐにガレた急登で浮石も多く気が抜けない。もう少し雪でも付いていれば歩きやすいと思われるくらい岩がむき出しである。しばらく登るとギャップと呼ばれる切れ落ちた崖に到着。ここは10Mほどの懸垂下降となるためロープを準備、支点も整備されているのでそれを利用していただくことにする。下降の後には10Mほどの登攀となり、荒井がリードで行かせていただく。難しいルートではないが、グローブ・アイゼン装着での登攀、さらに中間支点をとる所もないためフリーで慎重に登る。終了地点には新しいハンガーボルトが打ってあるので、それにセルフビレイ・支点構築をして林さんをセカンドビレイする。私自身このルートは3回目という事もあり、さほど不安もなくフリーで登ることができたが、初見では少し怖いと思える場所だ。二人とも無事通過し、さらにガレた尾根を登る。アイゼンが無くても歩けるほど雪は無いが、これもトレーニングと思いそのまま歩行を続ける。山頂直下でもう1ピッチ、スラブ状のルンゼがあり、傾斜は緩いが念のためロープを使う。ここを登り切れれば朝日岳山頂に到着。下山は一般ルートになるが、天気も良いため1900m峰まで足を延ばして景色を堪能してから下山となった。

終日天候にも恵まれ、冬のバリエーションルートを楽しむことができた。【文責 荒井 理】



【ギャップを懸垂下降】



【登り返してセカンドビレイ】



【朝日岳山頂】